



ジョルジュ・ド・ラ・トゥール《煙草を吸う男》1646年 東京富士美術館
© 東京富士美術館イメージアーカイブ / DNPartcom



山本芳翠《灯を持つ乙女》1892(明治25)年頃 岐阜県美術館寄託

2015年
1月24日(土) - 3月22日(日)

【休館日】月曜日 【開館時間】9:30-17:00

【観覧料】一般1,000円(800円)/高校生以下無料

※()内は前売りまたは20名以上の団体料金

※前売券は、ふくやま美術館ミュージアムショップ、

JR福山駅観光案内所などで1月23日(金)まで販売しています。

※前売券販売所は、ふくやま美術館ホームページまたは、
ふくやま美術館にお問い合わせください。

【主催】(公財)ふくやま芸術文化振興財団 ふくやま美術館、福山市教育委員会、
読売新聞社、美術館連絡協議会

【協賛】ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

市制施行100周年記念事業キャッチフレーズ

「夢・未来 輝く福山 100周年」

2016年(平成28年) 福山市は市制施行100周年を迎えます。

夜の画家たち

Japanese Masters of the Night

蝋燭の光とテネブリスム

ジョルジュ・ド・ラ・トゥール
西日本初公開



FUKUYAMA MUSEUM OF ART
ふくやま美術館

福山市西町二丁目4番3号 電話 084-932-2345 JR 福山駅北口から西へ400m



べフルス
ふくやま美術館



歌川国貞《月の陰忍逢ふ夜(八間)》
江戸時代 個人蔵 ★1/24-2/6



亜欧堂田善《品川月夜図》文化年間
(1804-19) 頃 神戸市立博物館 ★前期



高橋由一《中州月夜の図》1878(明治11)年 宇都宮美術館



日高文子《燈下婦人図》1881(明治14)年
個人蔵



小林清親《大川岸一之橋遠景》1880(明治13)年
GAS MUSEUM がす資料館 ★後期



牛田維村《裏街の夕蟹港二題より》1926(大正15)年 横浜市(横浜市民ギャラリー寄託) ★2/7-2/22

★展示期間: また前期1/24~2/22 後期2/24~3/22で約30点の展示替えがあります。

ミュージアムコンサート「光と影を求めて〜バロックダンスと音楽〜」
2月21日(土) [開演] 19:00~(開場 18:30~) [会場] 美術館1階ロビー
[出演]
湯浅 宣子(バロックダンス)、伊左治 道生(バロックバイオリン)、佐野 健二(アーチリュート)
☆ルネサンスから、バロック、ロココまでのダンスと器楽曲の競演。楽曲、楽器の解説もあります。
[料金] 一般:1000円 高校生以下:無料
[申し込み方法] はがき、またはEメールに次の事項を記入のうえ、お申し込みください。
入場を希望する人数(一般:○人、高校生以下:○人)、代表者名前、住所、電話番号
[宛先] 〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号
Eメール: art2@city.fukuyama.hiroshima.jp
ふくやま美術館 ミュージアムコンサート係(先着順、定員150名)



開場から開演までの時間
「夜の画家たち」展を
無料で御観覧いただけます。

ラ・トゥールの「青年」と山本芳翠の「乙女」 最初で最後、奇跡の出逢い

「夜の画家」と称されるフランスのジョルジュ・ド・ラ・トゥール
オランダのレンブラントらの西洋美術の巨匠たちは、光と影をあやつる
魔術師でした。闇から一条の光によって劇的に事物がうかび上がるその
表現は「テネブリスム(暗闇主義)*」とも呼ばれ、バロック美術の
時代、ヨーロッパで大流行したのです。

時代はくだって、近代日本。これら西洋美術の明暗技法に出会い感動
した画家らがいました。そのひとり山本芳翠は、絵が「全く光りの
ついてる様だ」と驚きました。

それまでの日本にはそんな明暗表現の概念や技術はなく、真に迫るような
闇や夜の描写も極めて稀だったからです。

亜欧堂田善、高橋由一、小林清親、熊谷守一、高島野
十郎といった画家たちが、この未知の表現に果敢に挑んでいきました。
深い闇のなかの灯や星明りを巧みに描きだす、新たな日本の「夜の
画家」たちが誕生してきたのです。

この展覧会は、これら日本人画家たちの挑戦と、彼らが残した夜の絵の
世界を、のべ約120点の作品を通して初めて包括的にふり返り、明らかに
しようとするものです。その出発点となった西洋美術の古典で、世界的にも
貴重なラ・トゥール作品《煙草を吸う男》(1646年 東京富士美術館)が
西日本で初出展となり、山本芳翠の名作《灯を持つ乙女》(1892年頃
岐阜県美術館寄託)と共演する様は必見です。またレンブラントの版画作
品等もあわせて展示します。

*tenebraはイタリア語の「闇」の意

特別記念講演会「日本の夜の画家たち」

宮下 規久朗氏(神戸大学大学院教授)

日時 1月24日(土) 14:00~(開場 13:00~)

会場 1階ホール(先着150名 聴講無料)



熊谷守一《燭燭》1909(明治42)年
岐阜県美術館



高島野十郎《燭燭》制作年不詳
三鷹市美術ギャラリー

学芸員によるギャラリー・トーク
1月31日(土) ※ラ・トゥール忌(30日)記念
2月8日(日)
3月14日(土) ※ラ・トゥール誕生日記念
14:00~ 当日の観覧券が必要です。

ワークショップ
「カラフル和ろうそくを作ってみよう」
2月14日(土)
9:30~11:30/13:00~16:00
※時間内随時(材料が無くなり次第終了)
[場所] 美術館ロビー [料金] 100円

◎お問い合わせ ふくやま美術館
広島県福山市西町二丁目4番3号
☎ 084-932-2345 FAX 084-932-2347



◎交通案内
JR 福山駅北口から西へ400m
山陽自動車道 福山東インターから車で20分
駐車場 68台(有料)
http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-museum/